

山協ニュース

岩手県山岳協会
第163号
平成22年2月26日発行

岩手県山岳協会

検索

平成22年度定期総会開催

平成22年度岩手県山岳協会定期総会が去る2月6日（土）午後1時30分から代議員ら72名の出席のもと、盛岡市の労働福祉会館で開催された。開会に先立ち、協会表彰規定に基づき、21年度インターハイ全国優勝の岩手高校山岳部及び新潟ときめき国体リード競技少年男子で優勝した藤原祐樹君と三上誉人君に表彰状が送られた。開会にあたり物故者への黙祷を捧げ開会した。

高橋会長は挨拶で、「全国有数の長い歴史と伝統を誇る岩手県山岳協会の発展のため、スポーツ団体としての使命と、岩手県を代表する山岳団体として山岳協会の本来の姿である安全登山の啓蒙、事故防止のための体制作り、指導員の育成に力を注ぎ、県民に勇気と希望を与え、加盟団体や関係者にとって誇りの持てる協会として発展するため、着実に歩みを進めて行きたい。」と所信を述べると共に平成22年度事業への取組み方針について力強く述べられました。その後、来賓として八幡平副市長武田常德氏から祝辞を頂く。来賓には武田副市長をはじめ協会顧問の滝沢村長代理の副村長の松川章氏、盛岡市長代理の吉田春彦スポーツ推進室長の出席を頂いた。

総会の議長に都南山岳会会長の村上氏を選任し議事に入った。



承認第1号平成21年度一般会務報告並びに事業報告、認定第1号平成21年度収支決算は、

原案通り承認認定された。引き続き議案第1号平成22年度運営方針並びに事業計画(案)、議案第2号平成22年度収支予算(案)（一般会計5,375,000円）についても、原案通り可決された。

意見として、国体強化募金が年々減少傾向にある。二順目国体や国体改革への対応のためにも、皆で支援していく必要があるとの貴重な意見が出された。

平成22年度の主な事業

- ・第37回東北総合体育大会開催
(盛岡市 7/23-25)
- ・太野隆夫杯ボルダリング選手権大会
- ・つなぎ・箱が森トレイルランニング大会
- ・平成23年協会70周年記念事業の推進
- ・二順目岩手国体の準備
- ・国体強化とスポーツライミングの普及
- ・アルパイン指導者養成
- ・岩手山山小屋管理と安全登山の啓蒙
- ・少年少女登山教室等の一般県民への啓蒙
- ・協会組織の加盟団体との交流

協会名誉会員出堀宏明氏が (社)日本山岳協会表彰受賞

60年余にわたり我が国の登山界発展のため尽力されてきた協会名誉会員で盛岡山想会会長の出堀宏明氏が去る1月16日(社)日本山岳協会から全国の8名の方々とともに栄えある表彰を受けられました。おめでとうございます。

出堀さんは、60年余にわたり国体山岳競技、遭難救助対策、文部省登山研修所主任講師をはじめ、協会役員として地道に活動され、地方における安全登山の啓蒙、山岳岩手の基礎作り等に奔走され、多くの指導者を育てたことも評価され、東北でただ一人の受賞となりました。

2月6日（土）の協会定期総会后、関係者62名が参加して祝賀会が開催されました。

祝賀会では、矢羽々昭夫名誉会員、斉藤善也参与会会長から祝辞を頂き、日本山岳会岩手支部阿部陽子事務局長からお祝いの花束が送られた。前協会会長の工藤洋司協会顧問の乾杯の発声を頂き、出堀さんのこれまでのご功績を称え、これからも引き続き山岳界発展のためご活躍を祈念してお祝いの会は盛会となった。

協会名誉会員・ 顧問懇談会を開催

協会の名誉会員と顧問をお願いしている皆さんとの懇談会が去る1月9日（土）盛岡市で開催された。

当日は、年始の忙しい中、矢羽々昭夫氏、出堀宏明氏両名誉会員、中谷充氏、矢羽々文一郎氏、斉藤善也氏、四戸寛次郎氏、渡辺正蔵氏、國本旗男氏、古澤勝三氏、松尾寿氏、小泉昌弘氏の各顧問の出席を頂いた。協会からは、高橋会長、鈴木副会長、武田理事長、そして各部長が出席した。

高橋会長から、皆様のおかげで幾多の試練を乗り越え協会も70周年の大きな節目の年を迎えつつある。お蔭様でインターハイ、国体においても結果を残すことが出来た。しかし、社会人山岳会員の高齢化、高校山岳部の減少等厳しい環境にある。特に、協会の財政基盤の確立、50歳以上が80%を超える指導員の若返りへの対策が喫緊の課題ですと挨拶した。



出席者の皆さんからは、次のような貴重な意見提言を頂いた。

- ・指導部体制の強化
 - ・選手強化について、一部の担当者だけの負担とならないような体制が必要
- ・70周年記念誌に時系列の年表が必要

- ・協会の財政基盤確立への協力
 - ・山小屋管理は、利用者の立場に立って
 - ・個人会員制度の検討の時期
 - ・財政基盤確立に思い切って取組め等
- 今後これらのありがたいご意見、ご提言について協会として出来る限り、具体化に向けて検討していきたいと思っております。
ありがとうございました。

岩手版「登山技術講習指導マニュアル」15年ぶりに全面改訂

平成3年11月の冬山講習会兼指導員研修会での事故を教訓に、策定した岩手版「登山技術講習会指導マニュアル」を15年ぶりに全面的に改訂しました。

今回の改訂は、県山岳協会のなかでこのマニュアル自体の存在すら認識が薄れつつあることに危機感をもったことから、数年前から改訂の必要性が叫ばれていたもので、指導部、事業部を中心に検討を行い改訂したものです。

これまでの残雪期、沢登り、岩登り等に加えて、新たに遭難救助技術、登山教室、スキー登山、リードクライミング、ボルダリングなど、この15年間で新たに安全指導の必要性がでてきた分野についても、ページを起こし、また、用語の表現等英語化への統一等の対応についても改訂の対象とするなど共通項目も入れて9項目、25ページからなっています。

県山岳協会は、講習会等を通じて安全登山技術の啓蒙、指導者の段階的育成等の使命も担っており、講習会等が惰性に流されることなく安全で体系的に行うための一つの指針となるものです。

加盟団体及び指導員におかれましては、会員指導や指導員自身の指導マニュアルの一つとして活用頂きたいと思っております。なお、マニュアルは、加盟団体には、協会事務局から、指導員には指導員会事務局から配布する予定です。（担当 佐藤誠指導部長）

新加盟団体

岩手クライミングクラブ

1月23日の第1回常任理事会で「岩手クライミングクラブ」の加盟が承認された。

代表 長谷川健太、事務局 鈴木悠太

**太野隆夫杯争奪
第3回岩手県ボルダリング選手権
兼千葉県体岩手県予選会**

- 1 日 時 平成 22 年 3 月 21 日 (日)
開会式 8 : 30 ~
- 2 場 所 県営運動公園「ボルダリングルーム」
- 3 セッター
杉田雅俊
- 4 カテゴリー (各男女別)
ジュニア、ビギナー、ミドル、
エキスパート
- 5 申込期限 平成 22 年 3 月 17 日 (水)
- 6 申込用紙 岩手県山岳協会HP
- 7 参加料 ジュニア・高校生 2,000 円
一般 2,500 円



経過報告

- 1/6 第 1 回部長会
1/9 名誉会員・顧問懇談会
1/13 会計監査
1/16 宮城県山岳連盟創立60周年記念式典
1/16 出堀宏明名誉会員日本山岳協会表彰
1/23 第 1 回常任理事会
1/27 評議員会
2/6 平成 22 年度岩手県山岳協会定期総会
2/12-14 東北高体連顧問研修会
2/17 第 2 回部長会
2/18 平成 22 年度東北ブロック大会調整会議
2/20-21 冬山講習会兼指導員研修会
2/21 日山協評議員会

今後の予定

- 3/4 県体協第 6 回選手強化委員会
3/11 県体協第 5 回理事会
3/15 岩手県スポーツ賞授賞式
3/17 第 3 回部長会
3/21 太野隆夫杯第 3 回ボルダリング選手権大会
3/30 県体協第 2 回評議委員会
3/30 県体協奨励賞授賞式
4/14 第 2 回常任理事会